



6月に入り高温多湿の時期になりました。暑熱対策だけでなく、飼料に発生するカビにも注意が必要です。母牛にカビの生えた飼料を給与した場合、繁殖成績に大きな影響を及ぼします。夏に向け一度、飼料の状態を確認しましょう。

・カビ毒による影響

- ① 下痢
- ② 肝臓障害
- ③ 血便
- ④ 繁殖障害・流産

カビ毒による牛への影響は広範に及びます。通常、繁殖牛の発情・受胎は、主にエストロゲンとプロゲステロンというホルモンによって行われます。発情時、卵胞からエストロゲンが分泌され発情の状態へと変化し、受胎後には黄体からプロゲステロンが分泌され、妊娠を維持します。

しかし、カビ毒にはエストロゲンに似た物質が含まれているため、ホルモンバランスが崩れ、流産の恐れがあります。

・対策

① 飼料の給与方法を見直す

高温多湿の梅雨時期から夏場にかけては、短時間でもカビが発生します。翌日分の飼料を前日に準備することもあります。飼料の準備はその都度確認しながら行い、毎回きれいな飼料を給与しましょう。

また、カビは赤カビだけでなく、白カビも有毒です。カビの生えた飼料は、勿体ないですが廃棄しましょう。

② 飼料の保管方法を見直す

普段は密閉して飼料を保管しますが、長くそのままに

すると湿気でカビが増殖します。倉庫等で保管する場合、雨や湿気に注意しつつ、晴れた時は適度に換気しましょう。

③ 飼槽やタンクを掃除する

カビは飼料に限らず、飼槽の内側や飼料タンクの中にも発生します。特に、水や牛のよだれ、残滓がついていると発生しやすいため、食べ終わりの飼槽はこまめに確認、掃除しましょう。

④ カビ毒吸着剤を給与する

カビの中には目に見えないものもあります。それらの対策として、カビ毒吸着剤の添加も効果的です。また、肝機能低下による夏バテを防ぐために、強肝剤の給与も考慮しましょう。

吸着剤の効果にも限度があるため、吸着剤を給与していても、明らかにカビの生えた飼料を給与してはいけません。

・まとめ

毎回確実なチェックを行うことは難しいですが、日頃の作業の中で少し意識するだけでも対策は可能です。事故や生産性の低下を減らし、より良い経営、飼養管理に努めましょう。

※追記

今後、牧草の収穫が盛んになる時期ですが、トラック等に積載する際には法定の制限があります。長さや幅は車体の1.2倍まで、高さは3.8mまでです。

積載違反が発覚した場合、罰則が科される場合があります。飼料運搬の際には十分に注意し、法定の基準を遵守してください。





農作業メモ



水稲
田代 好幸
農畜産課
0969-22-1105

◎いもち病の対策

葉いもちが例年、多発している状況です。畦畔の草刈り及び稲の状況を観察し、病気が発生していないかを確認してください。

葉いもちが発生している場合は、臨時防除としてブラシン粉剤（フロアブル）を散布してください（予防剤及び治療剤）。

注）散布した場合、出荷米は一般米扱いとなりますが、収量の確保を優先してください。

◎出穂期からの水管理

穂ばらみ期から出穂期にかけては稲の体力消耗が激しくなりますので、深水管理をしてください。出穂期以降は、浅水での間断灌水に切り換えてください。

参考：適期刈取りの日安は、出穂期（ほ場の40%程度出穂した日）から35日たった頃です。

◎病虫害防除

・1回目

例年、6月下旬頃から出穂する時期となりますので、水田の約5～6割程度の出穂が確認できる時期に、いもち病・カメムシ等の対策として「トライスタークル」の散布をお願いします。

注）近年は、カメムシ等の害虫が多発する傾向となつていきますので、ほ場を巡回しながら、散布を実施してください。

・2回目

前回散布から7～10日後に、カメムシ等の対策として「キラップ」の散布となります。

注）散布の際は使用基準を遵守し、飛散等がないよう心がけてください。

また、散布された際には栽培管理台帳への記入をお願いします。



5月・6月の柑橘園管理



果樹
木蜜 栄次
果樹園芸課
080-1759-0088

1. 病虫害防除

品種	対象病虫害	農薬名	希釈倍数	散布時期
温州・中晩柑	カイガラムシ類 ゴマダラカミキリ	トランスフォームフロアブル	2,000倍	6月上旬～中旬
	黒点病	※ジマンダイセン水和剤	中晩柑 600倍 温州みかん 400倍	
	展着剤	アピオンE	1,000倍	
	ミカンハダニ	ハーベストオイル	150倍	6月下旬
	黒点病	※ジマンダイセン水和剤	中晩柑 600倍 温州みかん 400倍	
	ミカンサビダニ	ハチハチフロアブル	2,000倍	
	アザミウマ類 ゴマダラカミキリ	リーズン顆粒水和剤	2,000倍	
	黒点病	エムダイファー水和剤	600倍	7月中旬～下旬
カメムシ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍		
カイガラムシ類	エルサン乳剤	1,000倍	発生時	
				多発園

※ジマンダイセン水和剤は品種で倍数に注意してください。

2. 葉面散布

目的	資材名	希釈倍数
新梢充実	ジューシーカル	1,000倍 (100mℓ)
緑化促進	葉面マグ	200倍 (500g)



3. 施肥 ○通常タイプ

肥料名	施肥時期	対象品種	10a 施用量目安
果樹専用スペシャル 又は 果樹専用「極」	6月上旬	テコポン	4袋
		河内晩柑・清見 甘夏・パール柑	5袋
		ポンカン	3袋
		早生・中熟・普通	2袋
新アグリロング 28号	7月上旬	全品種	5袋